

令和4年度も宮城県ネクストリーダー養成塾の開催を予定しております。ぜひご参加ください!



宿泊プログラムの  
ダイジェスト動画はこちらから。



(映像・編集: 鹿野 颯斗)

お問い合わせ先: 宮城県環境生活部共同参画社会推進課

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1

TEL: 022-211-2577 / FAX: 022-211-2392 / MAIL: seisyo9@pref.miyagi.lg.jp

発行日: 令和3年11月

# ネクストリーダー養成塾 未来のリーダーアカデミア

## 令和3年度 宮城県ネクストリーダー養成塾 実施報告書

宿泊プログラム日程: 令和3年8月6日(金)~8日(日)

オンラインプログラム日程: 令和3年8月20日(金)~9月20日(月祝)

主催: 宮城県環境生活部共同参画社会推進課  
一般社団法人ISHINOMAKI2.0

後援: 仙台市教育委員会、宮城県商工会議所連合会、宮城県PTA連合会  
仙台市PTA協議会、青少年のための宮城県民会議、河北新報社





## 事業概要

ネクストリーダー養成塾は、宮城県内の中学生を対象とし、宮城県知事や様々な分野で活躍されている方々の講話、ワークショップ、意見発表などを通して、これからの宮城を支える次代のリーダーを育成することを目的としたプログラムです。

今年度は「マイプロジェクト」を通して、正解のない問題に向き合い、考えることで未来への創造力やリーダーシップを育むことを目的に実施しました。参加者のサポーターとして県内出身の大学生や社会人も参加しました。

### ※マイプロジェクトとは

マイプロジェクトは、自分の身のまわりの課題や関心をテーマにプロジェクトを立ち上げ「アクション」を通して学ぶ、実践型探究学習プログラムです。小さくても自分の「やりたい」という主体性と実際に「アクション」を行うことを大事にしています。

## 実施概要

### □宿泊プログラム

- ・実施日程：令和3年8月6日(金)～8日(日)
- ・会場：宮城県庁・東北自治総合研修センター(富谷市)
- ・参加者：宮城県内の中学生 32名

### □オンラインプログラム

- ・実施期間：令和3年8月20日(金)～9月20日(月祝)
- ・方法：YouTubeでのレクチャー動画とゲストトークの視聴、送付したワークシートの記入
- ・参加者：宮城県内の中学生 35名



## オンラインプログラム

宿泊プログラムへの参加が難しい宮城県内の中学生に向けて、オンラインプログラムを実施しました。オンラインプログラムも、宿泊プログラムと同様に「マイプロジェクト」の企画をするための研修を実施しました。

### STEP1：自分のことを知る

オンラインプログラム全体のガイダンスや、ワークをする時に参加者に心がけてほしいことを説明しました。また、導入のワークとして、自分の事を考え「わたしの動詞」と「わたしの志」をつくるワークを実施しました。

### STEP2：ゲストトークを視聴する

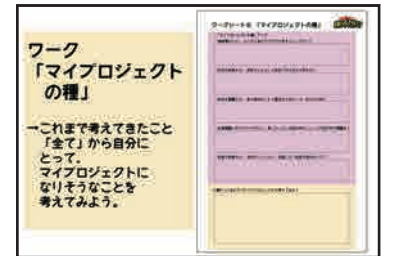
宿泊プログラムでお話いただいた、NPO法人カタリバの芳岡孝将氏のマイプロジェクトについての説明や、林家たい平氏を含む5名のゲストトークの動画を視聴し、マイプロジェクトを考えていくための参考にしました。

### STEP3：マイプロジェクトを考え、企画する

STEP1とSTEP2を踏まえて、参加者一人ひとりが自分の思いを大切に「マイプロジェクトの種」をつくりました。また、その後には「マイプロジェクト企画シート」をつくり、具体的なアクションの計画を立てていきました。

### プログラムの修了について

プログラムの最後に記入するWEBアンケートの送信をもってオンラインプログラムは修了となり、後日、宮城県から修了証書を送付しました。



## プログラムの実施者について

本プログラムは宮城県環境生活部共同参画社会推進課が主催し、共同主催団体である一般社団法人ISHINOMAKI2.0が企画・運営を担いました。また、宿泊プログラムにおいては、宮城県在住・出身の20代の若者達も「サポーター」として泊まり込みで3日間参加しました。

### 宿泊プログラムスタッフ紹介



企画・運営：一般社団法人ISHINOMAKI2.0

アドバイザー：認定NPO法人カタリバ



### サポーター

※県内外の大学生や、地元企業の社会人、高校教員や地域おこし協力隊員等の個性豊かなメンバーが、サポーターとして参加しました。

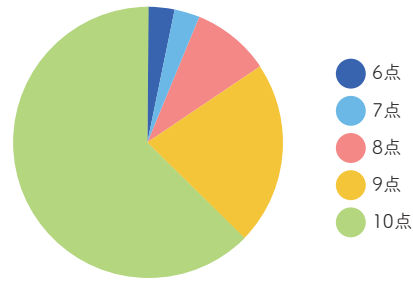


# アンケート結果

## プログラム全体の満足度

宿泊プログラム参加者のプログラムの満足度は10段階評価で平均 9.38と高い結果となりました。

満足度の理由として、各方面で活躍されている講師の方々の講話はもちろんのこと、「自分なりのマイプロジェクトを考えられた」や「他の参加者のマイプロジェクトを見て学べた」などがありました。また、「参加者同士やサポーターとの交流が多く楽しめた」など、宿泊プログラムならではの理由も多くありました。



参加者:32名 満足度平均値:9.38

## 参加者の意識の変化

リーダーとなるために必要な力や自分の能力がプログラムを通してどのように変化したのか、参加者に事前・事後アンケートを実施することで調べました。



## 参加者の声

3日間でやりたいことを見つけられるのが不安でしたが、しっかりと芯の通ったやりたいことを見つけられました。また、様々な先輩方のお話や仲間と交流する時間が多く、色々な意見や考え方を学ぶことができました。

自分のことを見つめなおすことができました。マイプロジェクトを考える際には、色々な方のお話を聞き、アドバイスもいただいたので、有意義な時間を過ごすことができました。また、はじめは緊張していましたが、友達ができて嬉しかったです。

宮城県内のリーダーになることやリーダーシップに興味がある中学生が集まっていて、とても話しやすかったです。また、スタッフやサポーターのみなさんも、暖かく迎え入れてくれて充実した3日間となりました。

今回、参加する前までは「マイプロジェクトとは何をするものなのだろう」と思っていたのですが、プログラムを通して自分のマイプロジェクトを考えることができました。また、ほかの人のマイプロジェクトを見て、新たに学ぶこともできました。

# 宿泊プログラム

## 開講式

### 開講式

開講式は宮城県庁で実施しました。はじめにこの3日間の目的等について共有した後、一緒に過ごす仲間と自己紹介を含めたアイスブレイクを行い、緊張をほぐしました。

### 知事オープニングトーク

知事の考える理想のリーダー像について、イエローハットの創業者である鍵山秀三郎さんのエピソードを交えて、自らの後ろ姿で周りを動かすことの大切さを教えていただきました。また、人事を尽くして天命を待つのではなく、天命を見つけて人事を尽くすことが大切であるとお話いただきました。

### 志を立てる

場所を東北自治総合研修センターに移し、まずは自分自身について見つめ直し言語化するワークを実施しました。自分の大事にしていることや価値観等のキーワードを考えた後、自分の気になることや大事にしたいこと等から「わたしの動詞」を作成し、ギャラリーワークで他の人が考えた内容を見てまわり、その後「わたしの志」を考えました。

### マイプロジェクトを考え、企画する

2日目のスタートは、NPO法人カタリバ(女川向学館)の芳岡孝将氏からマイプロジェクトについてお話をいただいた後、林家たい平氏を含む5名の方から「自分のマイプロジェクト」について講話をいただきました。その後、自分が取り組むマイプロジェクトを考え、具体的な内容について企画していきました。  
→参照：P4 ゲストトークについて

### 発表会準備・発表会

発表会に向けて、スケッチブックに自分が考えたマイプロジェクトをまとめていきました。発表会では自分の考えたマイプロジェクトと共に、設定理由や自分の想いも発表しました。また発表を聞く側からは発表者に感想や応援メッセージを伝えました。  
→参照：P5 みんなのマイプロジェクト

### 閉講式

閉講式では代表生徒2名に修了証書が授与され、代表生徒はプログラムが進む中での自身の成長の様子や、マイプロジェクト実施に向けての抱負を述べました。新しい経験の連続となった3日間を終え、参加者からは達成感や今後自分なりにマイプロジェクトを実行する意欲がうかがえました。

### フォロー研修・個別相談(オンライン)

宿泊プログラム終了後もマイプロジェクトを実行する際に相談ができるよう、参加希望者を対象にオンラインで2回のフォロー研修と個別相談を実施しました。  
□フォロー研修①参加者：14名  
□フォロー研修②参加者：15名  
□個別相談件数：5件

## 1日目

## 2日目

## 3日目

## フォロー研修





## ゲストトークについて

宮城県に縁があり、各方面で活躍している5名に「私のマイプロジェクト」についてお話をいただきました。宿泊プログラム参加者はゲストから直接お話を聞き、オンラインプログラム参加者はその様子をアーカイブ動画で視聴しました。

※以下、各ゲストの講話内容のまとめです。



**林家 たい平氏**  
落語家/みやぎ絆大使

林家たい平氏からは、人と人の「縁」を軸にお話をいただきました。中学時代に教師に憧れ、当時の先生から美術教師を勧められて美術の道に進んだお話や、なぜ落語の道に進んだのか、落語家を目指す最中や落語家として出会った人々とのお話がありました。それらを通して「縁に偶然はなく必然の縁である。どんな縁も自分にとっては大切な縁であり、出会いや縁を大切にすることで、人生が変わる」とメッセージをいただきました。



**赤羽 優子氏**  
株式会社ティ・ディ・シー  
代表取締役社長

赤羽優子氏からは、自身の社長就任時の不安やその後の取り組みから、課題を明確にし改善に取り組むことが大事だというお話をいただきました。その中でも「社会では立場の異なる人と関わる人が多いが、その人の立場になって考えてみるのがプロジェクトの成功につながっている」と教えていただきました。



**佐々木 秀之氏**  
宮城大学事業構想学群  
准教授

佐々木秀之氏からは、大学生と一緒に取り組んでいるプロジェクトを通して、様々な地域の課題を解決するためにどのように地域の資源を活かしていくのかお話をいただきました。その中でも、特に地域の課題を自分ごととして捉えることの大切さについて参加者へ投げかけられていました。



**武田 真由子氏**  
青山学院大学3年生

武田真由子氏からは、自身が高校生の時に行ったマイプロジェクトである地元石巻ならではのドレス制作とファッションショーの開催についてのお話をいただきました。やりたい気持ちがあれば意外になんでもできるからこそ、自分の好きなことから始めてみて欲しいと自身の経験に基づいたお話をされていました。



**安藤 邦義氏**  
七十七銀行地域開発部

安藤邦義氏からは、地元宮城を選んでもらえる場所になりたいという想いで取り組んでいる事業についてのお話をいただきました。その中でも「何か新しいことをする時には必ず様々な壁に直面するが、それを乗り越えるためにどうすればいいのか考え行動に移すことが大事」とメッセージをいただきました。

## みんなのマイプロジェクト

